

22 元日の地震体験（12）

（川崎さん）

だと自分は思いますね。他人との関わりであるとか、形であるとか。物であるとか。すべてにおいて、どういう風に関わりあえば、うまくいくんだろうか？ ということを今回すごく考えさせられました。

…休憩 NHK ハートネットTV上映(26分間)…

（川崎さん）

実際、施設でもこういう状況であるということも、皆さんにより知っていただけた機会になったかと思います。

本題に戻って、障害者である我々が災害時にどうすべきか。どうあるべきかということに関して、皆さんからご意見をいただけたら、と思います。

まず、命を守ることかな、と個人的には思いますけど。こういう目に遭いましたから。だけど、皆さんそのためには、どういう、お知恵をお借りしたい、と思う気持ちもありますので、よろしくお願ひします。

（天田さん）

自分もどうあるべきかはわからないんですけど、ちょっと話戻りますけど、さっき話されていた個別避難計画ですけど、自分も親を通じて市に申請はしてあって、もしもの時は助けてくれる算段はしてあったのですが。

被害が少ないというか、かほく市の方は、まだちょっと震災被害が少なかったにもかかわらず、助けてくれるはずの近所の人が訪ねて来なかつた、というのが現実に起こったことなのです。

自分自身も普段は、親の車で外出はするのですが、ご近所付き合いも、あまりしないので、自分は出かけるとなつたら、まず自分で靴を脱ぐのはできるけど、履くのは難しくて、靴を履かせてもらって外用と家用の車いす2台持ちなんですが、外用